

栄養学科 8月のオープンキャンパス

8/19

第一部 巴教授による講演

「九州女子大学と企業との取り組み」

栄養学科の特色のひとつでもある企業との商品開発や、卒業生の就職状況について話されました。本学では、卒業後を見据えた貴重な経験が沢山できます。長年にわたる企業との連携が、卒業後の進路選択や、仕事においても活かされていることを知っていただけたのではないのでしょうか。

第二部 SATを使用した1000kcalチャレンジ

食育 SAT システムを使用し、「1000kcal を当てよう！チャレンジ」を高校生の皆様と保護者様に体験していただきました。SAT はフードモデルを選んで機械に乗せるだけで、カロリーや栄養バランス等が目で見て分かるシステムです。栄養教育媒体であるSATに触れていただくことで、普段何気なく口にしている食事の栄養価を知り、栄養学について知って頂くきっかけになったのではないのでしょうか。本学学生と来場者の皆様が楽しみながら取り組まれている様子が印象的でした。



8/20

第一部 塩田教授による講演

「病院食への取り組み」

病院における実際の栄養管理について話されました。「病院の食事は治療の一環であること」や、栄養状態が患者様の入院日数に大きく影響すること等、臨床現場における管理栄養士の役割について話されました。管理栄養士を目指す上で、食事に興味を持つことや、患者様に寄り添った栄養管理を行うことについても話されました。病院で実際に提供されている食事の紹介もあり、高校生の皆様に、より具体的に管理栄養士の仕事についてイメージしていただけたのではないのでしょうか。

第二部 ソフト食の試食会

7月に引き続き、ソフト食の試食会を実施しました。食べ易い形状であることは勿論、見た目にも配慮した美味しいソフト食を試食していただきました。通常の食事とそっくりの見た目と美味しさに、来場者様は驚かれていました。



沢山のご来場、誠にありがとうございました！